

かがやく女性

題字
福井県知事 西川一誠
第22号
発行者
(財)ふくい女性財団

ふくい女性塾

今年度は、6日間にわたって全16名の講師を招き、講義・実践報告・座談会(意見交換)など工夫を凝らして、テーマ「国際交流・協力」について、延べ273人が学びました。参加者からは次のような声が聞こえてきました。

9/30 福井県の国際交流・協力政策

◆国際交流・協力政策が、実にやりがいのある事業であると理解できた。
◆各データに驚くことが多く、参考になる分かなりやすい講義でした。

10/14 ホームステイ受け入れ家庭と海外体験者からの報告

◆自然体でのホームステイ受け入れ20年、素晴らしいと思った。人間としての価値観はあまり変わらないから、心のふれあいが一番だと感じた。

◆お話はユニークで、感銘を受けました。町を

あがてのホームステイに取り組まれたことはすごいと思った。



10/14 公開講座 福井県の国際化をすすめて

◆国際交流から国際理解が生まれる。国際協力へと進めていきたい。

10/21 福井で働く～外国人研修制度～

◆中国人の特性、国の習慣の違いを踏まえ、日本の習慣・制度・法律を主体として共生することの必要性を感じた。
◆相手国の理解を深めることの難しさ、加えて自国のルールを指導することの困難さを知らされた。文化・生活習慣だけでなく、国内外の視野を広めるためにも役立った。もっと多くの人に女性塾のPRを！

10/21 国際結婚

◆日中間の結婚について、習慣の違いやトラブル、高い離婚率という問題がある。周りの方たちの思いやり、地域の温もりある接し方が大切。
◆文化の違いから生じる、日本人には信じられないような意識の違いがある。講師の、中国人妻に対するいたわりの情熱をヒシヒシと感じた。

11/11 JICAと、青年海外協力隊・シニアボランティア体験談

◆ボランティアに関する見方・考え方が変わりました。女性塾でないとな学できない分野もあり塾の素晴らしい、尊さを痛感しました。

◆スリランカの風土、習慣の違いが良くわかりました。結婚

について、男女共同参画などについて



11/18 生活・文化 おもしろ＆不思議エピソード

◆楽しく参加できた。具体的な話題、男女共同参画、福井の良さを感じていただいていた嬉しく思った。

11/23 日本の助産を海外に (ブラジル人研修生受け入れ)

◆世界共通の「お産」。国境を越え、ヒューマニティにたつて自然分娩の良さを信じ、従事される話に感動し、国際感覚豊かな活動に心打たれた。

11/23 実践する国際支援 一人で、グループで

◆いろいろな支援に気づいた。タイのスラム街の子どもたちへの支援が一人でもできる事に感激。福井の女性の地位向上の先駆者として講師からエネルギーとパワーを頂いた。
◆すごい実践活動。共感することも多く、生き方はすべてに通ずる。頑張らなければ、心新たにしたい。

男女共同参画セミナー

裁判員制度を学ぶ

09年5月までに始まる裁判員制度。誰もが裁判員に選ばれる可能性があります。『私の視点、私の感覚、私の言葉で参加します』がキャッチフレーズのこの制度を、正しく理解して対応できるよう学習しました。

▼裁判員制度とは

国民が刑事裁判に参加し、被告人が有罪か無罪か、有罪の場合どのような刑にするかを、裁判官と一緒に決める制度です。(原則として裁判員6人と裁判官3人で行います)

▼裁判員の選び方

衆議院議員の選挙権のある人の中から裁判員候補者名簿を作成します。事件ごとに、くじで裁判員候補が選ばれます。

裁判所で候補者の中から裁判員を選ぶための手続きが行われます。そうして6人の裁判員が選ばれます。

▼裁判員になったら

●公判に出席

●評議、評決

●判決宣告立会い

▼その結果

●様々な知識経験が裁判に反映し、裁判自体が分かりやすくなり、迅速になります。

●司法への信頼性も向上し、裁判が国民により身近なものになります。



(平成19年2月10日 生活学習館)

グループワーク

『男女共同参画の実現に向けて』

平成18年2月23日に上志比・永平寺・松岡が合併して、ひとつの町『永平寺町』になり、女性グループ13団体構成、一体化し、8月6日『永平寺女性ネットワーク』として設立総会を開き新しい船出をしました。福井市と永平寺町のネットワークリーダー研修会(11月20日開催)では、「男女共同参画実現に向けて」をテーマにグループワークを行い、活発な意見交換ができました。リーダー研修会の名目をもっと幅広い受取り方ができる会であれば...と思いました。早速1月21日に(ネットワーク会員)交流会を開き「私たち

永平寺女性ネットワーク

西 芳子

のまちづくり」をテーマに各団体から総勢85名が集い、環境・男女共同参画・防災・子ども・ネットワークとは...様々な問題が取り上げられ有意義な一日でした。環境問題に取り組んでいた私達商工会女性部は、レジ袋廃止運動の一環としてネットワーク(組織)に乗せてみなさんと共に、多大な成果を上げることができました。

合併して、人の輪も日ごとに花開き、今後、時代のニーズに合った組織作りと活動が求められていると思います。



落語

『ああ熟年離婚～男女共同参画について楽しく解説～』

落語家 はやおき亭貞九郎氏

あわら市男女共同参画ネットワーク
副会長 大木下 美智子
坂井地区はあわら市男女共同参画ネットワークが今年の担当で、独自企画を立てました。
「ああ、熟年離婚」と題した落語は、男女共同参画について楽しく分かりやすく解説したものでした。明治以降の男尊女卑の話に始まり、女性が生きていく今日の少子・高齢社会にあつて、最近熟年離婚が多いといわれていることがテーマでした。
原因には、家事を手伝わない夫、感情を表に出さない夫との、認識の違いがある。解決には、①お互いに思いやり、協力すること ②もめることは話し合うこと ③次世代



の子どもたちにも手伝わってもらうこと、などと面白おかしく話をされました。
肩肘張らない90分で、男女共同参画への理解が一層深まった研修会であつたと思います。

新たな結束に向けて！ ネットワークリーダー研修会

講演

『町は劇場(しばいごや)』

(財)丸岡町文化振興事業団 事務局長 大廻政成氏

誰にも真似られない、人間の知恵と

趣向を凝らして、4種類の研修会が7会場で開催されました。

高浜女性ネットワーク

会長 江上 博子

努力の源が整っている気がいたします。一筆の文を全国発信し、筆者の作家心をそそり敬う着眼、そして輪が輪を広げ、終りなき町の劇場づくりにうつと聞き入りました。大廻氏の生の声で素晴らしい研修会でした。「あなたに会えてよかった」(二人でもそう言ってくれる人がいる事が幸せです)。これから多くの良きリーダーが育つていくことを祈念いたします。



スキルアップ

『いい対話を生むには』

フリーアナウンサー 中西夕季氏

「いい対話を生むには」というタイトルで、人を惹きつける話の仕方・声の出し方などの学習をしました。まずテキストを片手に呼吸を整えて、早口言葉を懸命に練習することにより頬の筋肉を動かして、にこやかに会話することを学びました。プロの先生もこのトレーニングをして講演会場に入られる、という裏話をお聞きました。

次に「会議の進行とまとめ方」を、グループに分かれて学習しました。メモ用紙に思いつくままに書いて大きな台紙に貼り付け、グループの人たちの潜在意識を引き出して、結論



健康講座

明日から

(共催：県若狭健康福祉センター)

あなたもできるがん予防

(女性版)

あなたのために、家族のために

講師 福井県済生会病院外科部長

笠原 善郎氏

女性のがん発生率は、①乳がん②結腸がん③胃がん④肺がんの順に多く、特に乳がんは、他のがんと異なり、働きざかりの40歳代に最も多いために社会的にも問題となっている。

乳がんは、日本では40歳代の25人に1人(アメリカでは8人に1人)がかかる。この急激に増えた原因は、食生活やライフスタイルの変化がある。脂肪摂取の過多や、結婚・初産が遅く子ども数が少ないということがあげられる。このようなことから、乳がんの発症予防には、高脂肪食を避けた日本食がよいのではないかな。

また、乳がんの自己検診法として、日ごろから自分で触れ、見ることで、具体的に「以前より硬い」「前はこんなしこりは無かった」などの変化に気をつけることが大切。その他、乳頭分泌、乳首や乳房の変形、えくぼが無いかも調べましょう。一月に1回は自分の乳房に手をやってみましょう。それが乳がんから身を守る第一歩です。



(平成18年11月25日 高浜町文化会館)

◆◆◆参加者からは◆◆◆

『乳がんは女性で一番多いがんです。乳がんから身を守るため、自分の乳房は大切にじっくりとみましょう』と締めくくられた本講座は、パワーポイントを使っただけの分かりやすい説明と、日常の事例等で興味を引く講座だった。

また「乳がんになつわるちよつと悲しいお話」の資料を頂いた。その中には、一年前から胸のしこりに気づいていた女性が、家庭の事情でやつと病院を訪れた時には乳がんが進行しており、闘病の末、大切な家族に見守られながら旅立たれた話があった。とても身につまされる思いがした。

今回の講座を受講し、健康であることへの感謝と、自分や家族の健康管理の大切さを再認識した一日だった。

仕事と育児の両立を応援します!!

ふくい緊急サポートネットワーク事業

まずは、会員登録を!(無料)

利 用 会 員: 働く保護者

支援スタッフ会員: 子育て経験者、保育士など(研修会受講が必要)

*事業の実施は、県内6つのファミリーサービスクラブ

(福井・越前・鯖江・勝山・敦賀・小浜)

*詳しくは、ふくい女性財団まで

TEL 0776-41-4234

支援スタッフ会員Aさん

「仕事か忙しくなる時期に、急なこともかわらず病児を預かって下さりありがとうございました。」と大変感謝された。ここに支援のやりがいを感じました。



◆◆◆実際の支援例◆◆◆

★保育園から「発熱で迎えに来てほしい」と連絡が…。仕事を急に終われないお母さんに代わって園へお迎えに行き、小児科の診察に付き添う。その後、病院隣接の保育施設に送り届けた。

★急に日曜日に仕事が入ったお母さんの依頼に対応。朝食・昼食・夕食を食べさせ、お母さんのお迎えまで一日子どもを預かった。

いま活躍してまいります

福井県ふるさと活性化協議会

会長 長田泰子

本会は、農山漁村において望ましい経営や働き方およびゆとりある生活の研究、知識・技術等の情報交換を行い、男女がともに参画する豊かで活力ある地域社会の実現および農林漁業の振興に資することを目的として活動しています。

毎年「農林漁業とくらしのイメージアップ活動表彰」を実施し、活力ある農山漁村のくらしの実践と農山漁村の発展に優れた実績をもつ集団を表彰することにより、各地域での熟年グループの活動を助長し、地域での自発的な取組みを促進しています。

よりよい家庭や住みよい農山漁村の地域づくりをめざして、地産地消・食農教育・集落環境づくり等の活動について研修するとともに、互いの意見や情報を交換し、地域農業への積極的な参画と地域社会貢献への活動を展開しています。

今後も引き続き農山漁村の地域づくりを促進し、社会貢献できる活動を行いたいと思っています。



越前町男女共同参画ネットワーク

会長 木村道子

実践して意識の改革を！

「男女仲良く料理教室」開催

本年度の取り組みのひとつで、1月28日(日)、朝日生涯学習センターで実施。合併2年目、事業を通して人の輪ができてきた。



今回の取り組みは、「男女共同参画社会づくり」「合併した4地区の連携強化」「地産地消」を事業の目的に、海の幸・山の幸を食材にした6品の料理に挑戦した。

(参加者の声)

- 良い機会に恵まれうれしく思う。家庭でも手助けしたいと思う。
- 夫の意外な一面に触れ、またこのような企画をしてほしい。(夫婦で参加した女性)
- 普段料理する機会がなかったが、今日は大変いい体験をさせてもらった。
- グループで料理をすることを通して、団塊の世代の方との交流ができた。
- パワフルに料理をしている女性の表情・対話を真摯に大変参考になった。わずか3時間の事業でしたが、参加者全員楽しく事業の目的を達成できた。



(平成19年1月18日 ユアーズホテル)

各加盟団体の参加者が、和やかな雰囲気の中で活発な情報交換。そこで得た情報がまたそれぞれの団体活動に活かされる事でしょう。

新年のつどい

和やかに

ネットワーク情報交換会

—— 今後のネットワーク活動に活かそう! ——

県内35市町村が合併し17市町となり、各種団体やネットワークでも再編がなされ、ネットワークは16団体となりました。男性会員が加入し、名称から「女性」を省いたネットワークが9団体、町民へのネットワークの周知を徹底したいとする団体など、それぞれの経過や現状報告がありました。さらに、活動内容や行政との連携などについて、2名の男性代表を含めた14団体25名が集い、活発な情報交換がなされました。

[平成19年2月10日(土)開催]

情報コーナー INFORMATION

★ふくいいきらめきフェスティバル2007

とき 6月23日(土)・24日(日)
ところ 福井県生活学習館

★19年度ネットワークリーダー研修会

(開催予定地)

福井市、坂井市、大野市、越前町
越前市、敦賀市、小浜市

★日本女性会議2007ひろしま

とき 10月19日(金)・20日(土)
ところ 広島国際会議場他
テーマ 一人ひとり響きあって
いまそして未来へ

参加募集 5・6月頃(予定)

★日本まんが共和国

男女共同参画フォーラム
とき 11月17日(土)
ところ 岐阜県大垣市

編集後記

本誌も22号になり、その間、皆様の団体から多くの情報を頂きました。女性財団の設立から11年の軌跡ともいえます。今後は、新しい分野への事業展開を含めて、多くの情報を提示していきたいと思ひます。ご意見などいただくと大変ありがたいです。

発行者 (財)ふくい女性財団

〒918-8135 福井市下六条町14-1
福井県生活学習館(ユアーズふくい)2階
TEL.0776-41-4254 FAX.0776-41-4260
E-mail fujho-zai@cnr.ne.jp
URL http://www.f-jhosei.or.jp